

## 安全への取り組み

住友大阪セメントグループは、社員が安心して働くことができるように、安全・健康で働きやすい快適な職場環境づくりに努めています。

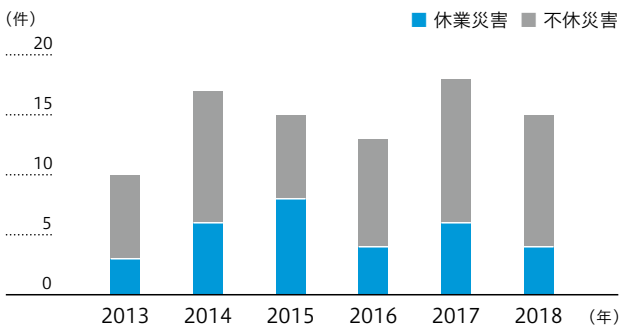
### 2019年安全衛生・保安対策推進計画

当社グループは、安全に厳しい企業として災害ゼロを目指しています。あらためて人間性を尊重し、「安全第一」と「健康保持増進」を安全衛生活動の基本理念とし、「安全に厳しい企業風土造り」のもと、快適な作業環境の形成を促進し、安全衛生水準の向上と作業遂行の円滑化を図って生産効率の向上に資するため、以下の項目を実施します。

#### ● 2019年重点実施項目

1. 災害の撲滅
2. 安全に厳しい風土造り
3. 人に優しい健康な職場造り
4. 交通災害(通勤途上災害)の撲滅
5. 労働災害情報データの整備

### 災害発生件数推移



### 安全衛生・保安対策本部管理体制

当社グループでは、全社の安全衛生・保安対策本部を設置し、事務局を中心とした定期的な連絡会の実施など、安全に対する一層の取り組み強化を行っています。

### 安全教育

当社では、「労働者の安全と健康を最優先する企業文化」である「安全文化」を定着させるべく、各段階における安全教育の徹底に力を入れています。

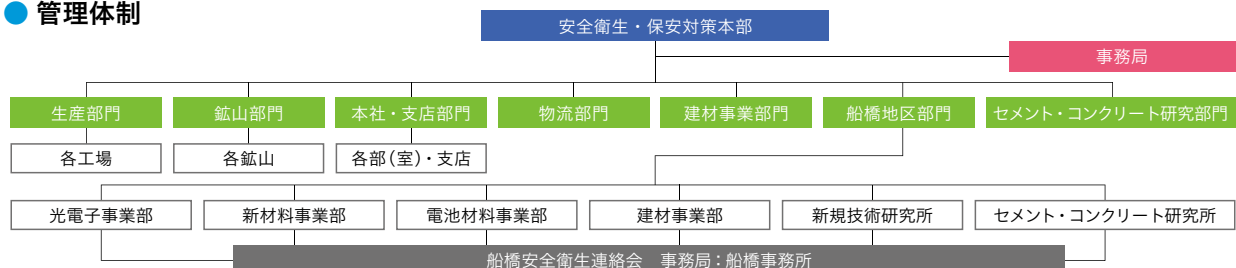
安全衛生保安対策本部主催安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業部主催教育</li> <li>● 若手社員安全教育</li> <li>● 管理職クラス教育、安全教育</li> <li>● 新入社員安全教育</li> <li>● 階層別安全教育</li> </ul>
各事業所主催安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 協会社安全キーマン養成教育</li> <li>● 安全作業責任者教育</li> <li>● 職長・班長教育</li> <li>● 安全体感教育、外部教育</li> </ul>
外部教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職長教育</li> </ul>

### 健康管理

社員が健やかに働けるように、健康保険組合と協力して所定の健康診断をはじめ、各種人間ドックに対する補助など、社員の健康づくりをサポートしています。近年は当社グループにおいても社員のメンタルヘルス不調者が増えてきているため、専門機関と提携し、専門家による相談体制を各地区に整え、社員が活用しやすいように推進しています。

また、ストレスチェック制度を導入し、メンタルヘルス不調の未然防止に努めています。今後も産業医による衛生講話や定期的なメンタルヘルスセミナーの開催などを通して、社員一人ひとりがストレスについて正しい理解を深め、健康で活力ある心身を築けるようサポート体制を強化していきます。

#### ● 管理体制



## 工場長・所長メッセージ

### 安全への取り組み 栃木工場

栃木工場では、安全衛生基本理念を「安全と健康の確保は企業存立の基盤をなすものと認識し、安全で快適な職場環境の確保を目指して活動する」としています。そしてゼロ災害を続けている工場として、2019年の活動方針を「安心・安全に働ける明るい職場をみんなで造りゼロ災害を継続する」としています。



安全体感教育受講風景

月初の安全集会での意識高揚、各職場での災害事例検討、KYM(危険予知ミーティング)の徹底確認など継続実践している活動とともに、工場内の安全体感教育設備を一段と充実強化し、新規入構者を含めた作業員全員の安全意識と安全感覚(危険を感じる感性)の向上に取り組んでいます。

また、今年からリスクアセスメントに加え、「気がかりカード」を導入し、不安全な状態・不安全な行動の撲滅に努めています。

今年の工場安全標語「危険を感じたその作業、やめる勇気と伝える気持ち 協力し合ってゼロ災害」ヨシ! と指差呼称で声を掛け合い、栃木工場ゼロ災害の継続に傾注したいと思います。



栃木工場長  
大橋 博

### 安全への取り組み 岐阜工場

安全は工場運営の基盤であり、全てに優先して守るべき絶対的な責務です。

岐阜工場では、残念ながら2018年に災害が発生してしまいました。その反省に立ち、従業員全員の安全に対する意識レベル向上を目的に、従来の取り組みを一層充実させ“災害の撲滅”に取り組んでいます。

#### 1. 巻込まれ・挟まれ災害撲滅

KYMで、巻込まれ・挟まれに関する危険ポイントを必ず1件以上取り上げ、作業グループ内での意識を高めておくことと、その予防措置を講じることで災害の防止を図っています。

#### 2. 指差呼称の定着

スイッチ操作や、修理中の機器スイッチへの札掛け時は、慌てず一呼吸置く効果も合わせ、指差呼称の実施を指導しています。また、日頃こうした操作に携わらない従業員にも指差呼称を根付かせるため、重点実施場所を指定し、習慣付けを行っています。

#### 3. 安全意識の共有(声掛け、教育)

多くの外部作業者が来場する整備休止の期間は、毎朝管理職が交代で入出場門に立ち、入場者一人ひとりの顔を見ながら声掛けを実施しています。また、外部入場者全員に安全体感ルームを利用した体感教育を含む安全教育と、経験の浅い作業員や当工場が初めての作業員には特別教育を実施しています。

衛生面では2017年度に工場内喫煙場所の設置を行い、完全分煙の環境が定着しました。定期的な衛生パトロールの実施と、定期健康診断の実施、産業医や外部講師による衛生講話の開催も継続して実施しています。

こうした活動を根付かせ、工場で働くもの全てが、お互いを思いやると同時に、遠慮なく注意し合える安心・安全な工場を目指してまいります。



岐阜工場長  
片岡 政之



重点指差呼称場所



## 工場長・所長メッセージ

## 安全への取り組み 赤穂工場

赤穂工場は従業員の安全と健康の確保が企業生産活動の基盤であるとの認識のもと「安全に厳しい風土を作り、職場の安全と健康を確保する」を方針として掲げ、日々安全衛生活動に取り組んでいます。

## 1. 安全対策

安全体感教育の充実を図るとともに、従業員や協力会社社員が自発的に危険を予知し改善策を考える環境づくりを行っています。

- 2018年に実施した“自分たちの周りの不安全”アンケートは対策を完了
- 協力会社による安全自主活動の相互報告
- 全社共通の課題となった「気がかりカード」を活用した不安全行動の是正

また法改正を受け、今年度は高所作業における墜落制止用器具をフルハーネス型に変更しました。今一度、安全帯の適切な使用の習慣付けと墜落・転落防止措置の徹底を図ります。

## 2. 衛生対策

定期的な活動として、衛生管理者・産業医による現場パト

ロールの実施、健康診断の全員受診と有所見者への産業医からの意見聴取が行われています。また、上司・部下の個別面談が行われ、メンタルケアも実施されています。

また今年度は働き方改革を念頭に、事務作業の生産性向上への取り組みを加速し、ワークライフバランスを保ちながら健康維持できる職場づくりを目指しています。



赤穂工場長  
青木 秀起



従業員、協力会社全員が墜落制止用器具を用いて行う作業に関わる特別教育を受講

## 安全への取り組み 高知工場

高知工場では「従業員の安全衛生は企業生産活動の基盤をなすものであり、安全衛生の確保は企業の社会的責任である」を安全の方針として活動を実施しています。

2019年度は、過去の災害を教訓に4項目を重点事項として取り組んでいます。

## 1. 安全意識の向上

- ① 「気がかりカード」の導入を行い、日頃から危険な個所に気付く能力を養う。
- ② 手順書を再確認し、どこにどのような危険があるのか顕在化し、対策を明記する。

## 2. 危険予知ミーティングの再徹底

- ① 監督者から作業責任者、作業者への指示は具体的に明確にする。
- ② 現場を確認し現場で危険予知ミーティングを行う。重点項目は、意識的に大きな声で唱和する。

## 3. 監督者への指導

- ① 監督者は危険予知ミーティングの内容、作業方法が適正か現場で確認する。
- ② 監督者は作業責任者と一緒に作業開始前より立ち会い指導する。

## 4. 設備不具合個所の改善

- ① 安全カバー、引網スイッチの不具合個所改善
- ② 補修作業方法の改善

新しい項目はありませんが、基本を重視し原点に立ち返って実践しています。また、現場の整理整頓は非常に重要です。一仕事一付付けを励行し習慣付けています。

人の意識が変われば行動が変わり、習慣が変われば不安全な行動、状態が無くなり、安全、安心して働ける職場が確立されると思います。



高知工場長  
明代 知也



安全集会での安全唱和

## 工場長・所長メッセージ

### 安全への取り組み 八戸セメント株式会社

八戸セメント(株)は、2019年度安全衛生活動方針を「全員参加のKYMを実践し災害を撲滅する」「共同作業時の連絡・合図の徹底を行い災害を防止する」と定め、危険因子の共有化を行い相互忠告することで、ゼロ災害に向けて取り組んでいます。取り組み方としては、

#### 1. 繰り返し災害の撲滅

- 重点取り組みとして、セメント製造業で多い災害の型「墜落転落」・「挟まれ巻込まれ」について、法令遵守、社内ルールの遵守に力を入れてまいります。
- また、「災害カレンダー」を作業前KYMに活用し、過去の災害事例の周知を図り類似災害の防止に努めます。
- 管理監督者による場内安全パトロールを実施しておりますが、これを継続し、ルールの遵守状況の確認、危険有害要因の排除を行ってまいります。

#### 2. 設備の安全レベルの向上

- 年次計画を立て、安全対策工事や保護具レベルの向上を図ってまいります。

#### 3. 安全感覚の向上

- 安全体感設備を活用した安全意識の向上を社員および協力業者へ継続していくとともに、若手社員のインストラクター

教育にも努めてまいります。

- 従前よりヒヤリハット報告活動により情報の共有化を図ってまいりましたが、住友大阪セメント社統一の「気がかりカード」制度へ移行し、更なる安全感覚の向上を目指します。

#### 4. 5S活動の積極的推進

- 整理整頓された職場環境を構築し、より安全な作業環境になるように、これからも継続して社員・協力会社全員で取り組んでまいります。

今般、若手社員が増える中、生産技術もさることながら安全技術・意識も継承できるよう更なる努力を積み上げていく所存です。



八戸セメント(株)社長  
大嶋 信太郎



No.3セメントクーラー 上部手摺り改修

### 安全への取り組み 船橋事務所

船橋事務所は、当社船橋地区および市川地区の各部門が共同使用する施設等の維持管理・保全を含めた安全衛生を統括しております。このうち、船橋地区には当社8部門と関係会社1社に、400名を超える人員が在籍しており、当社の研究開発および高機能品事業の拠点となっております。また、市川地区には当社5部門と関係会社3社ほか、セメントや環境関連事業および高機能品事業等の拠点としております。両地区の各部門・各社の事業内容は多岐にわたっておりますが、共通する安全衛生の課題について、地区全体で協力して改善活動を行っています。2019年の「ゼロ災達成」に向けた主な取り組みは以下の通りです。

#### 1. 危険感度の向上

- ① KY(危険予知)実施の徹底(作業前、非定常時、朝会等)
- ② 「気がかりカード」「ヒヤリハット報告」活用
- ③ 災害等事例検討による類似災害防止  
(各種データベースの提供と更新)

#### 2. 長時間・過重労働の予防

- ① 法令・ルール遵守の啓蒙(会議体・掲示板等)
- ② 労働時間の管理・報告の強化

#### 3. 各種教育・訓練の確実な実施

- ① 総合避難訓練、AED救命訓練、漏洩対応訓練
- ② 電気安全講習会、高圧ガス保安教育
- ③ 産業医衛生講話・産業医職場巡視
- ④ 外部講習会等(危険物安全管理・交通安全ほか)

今後も各部門と協力して、安全の確保と向上ならびに心と体の健康増進に向け活動してまいります。



船橋事務所長  
三河 一晴



AED救命訓練



総合避難訓練